

小口需要家の 節電自主行動計画のイメージ（案）

- ・フォーマットイメージ
- ・オフィスビルの記載イメージ
- ・スーパーの記載イメージ
- ・小口製造業（工場）の記載イメージ

（抜粋）夏期の電力需給対策の骨格

（平成 23 年 4 月 8 日電力需給対策緊急対策本部決定）

小口需要家（契約電力 500kW 未満の事業者） 【20%程度抑制】

個別の需要家（事業所）はピーク期間・時間帯における最大使用電力の 20% 抑制に貢献するため、具体的目標を設定するとともに、空調・照明機器の節電、営業時間の短縮・シフト、夏期休業の設定・延長・分散化等をするための具体的取組について自主的な計画を策定し、公表。所管官庁は、計画の策定、公表を促す。

政府は、目標達成のメニュー例（空調、照明、OA、機器等の節電）を提示するなど、これを支援するとともに、計画を策定した需要家が節電行動を分かりやすく表示するよう促す。また、節電に積極的な需要家の取組を一覧できるサイトを立ち上げ、その取組を国民に広く示す。

所管省庁・業界団体・自治体等を通じて個別の需要家の取組を強力に進めるとともに、適切な情報提供や巡回節電指導を行うことで、国民運動を展開。

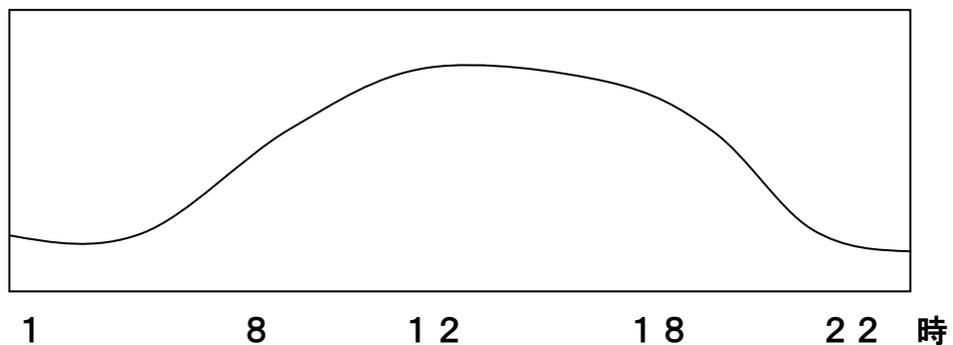
節電行動計画 記入様式

事業所名： _____

(1) 事業所の営業形態・使用電力等		
勤務実時間： 休日： 契約電力： kW 昨年夏のピーク使用電力： kW ※kWが分からなければ、kWhでも結構です。		
(2) 具体的な節電目標・目標の実現に向けた対策		
※書き方の区分、どこまで詳細に書くかは自由です。わかる範囲で記入ください。		
今夏の節電目標：昨年夏ピーク比でマイナス〇〇%		
対策		対策効果
※電力消費の内訳がわからない場合は、それぞれの部門毎の対策がどの程度の削減効果につながる と考えられるかという類推値を記入ください。 ※ピーク期間・時間帯（例えば、7～9月（平日）の10時～21時）の節電対策に特に留意して ください。		
① 照明設備関係	▪	
電力消費の内訳：約〇%		▲〇%
② 熱源・空調・換気設備 関係	▪	
電力消費の内訳：約〇%		▲〇%
③ 室内機器関係	▪	
電力消費の内訳：約〇%		▲〇%
④ エレベーター等動力関係	▪	
電力消費の内訳：約〇%		▲〇%
⑤ 生産設備関係		
電力消費の内訳：約〇%		
⑥ 操業調整等その他の対策	例：節電担当者の任命、省エネキャンペーン、従業員やその家族 に対して指導や啓発、輪番休業等	▲〇%
.....	▲〇%

(備考1) 事業所の電力使用曲線

※ 可能な事業所のみ、人の多さなどイメージでも可。



(備考2) 電力設備

※ 分かる範囲で

空調	例：空調機○台、空冷パッケージエアコン○台（合計定格出力 ○kW）
照明	例：蛍光灯○本
エレベーター	例：エレベーター○台、エスカレーター○台
OA機器	例：パソコン ○台、コピー機 ○台
冷蔵庫	例：家庭用冷蔵庫 ○台
電気式給湯機	例：給湯機 ○台
生産設備	※設備が多い場合は、生産設備一式の合計定格出力を記載ください。

※書き方の区分、どこまで詳細に書くかは自由です。

節電担当者： 節電太郎

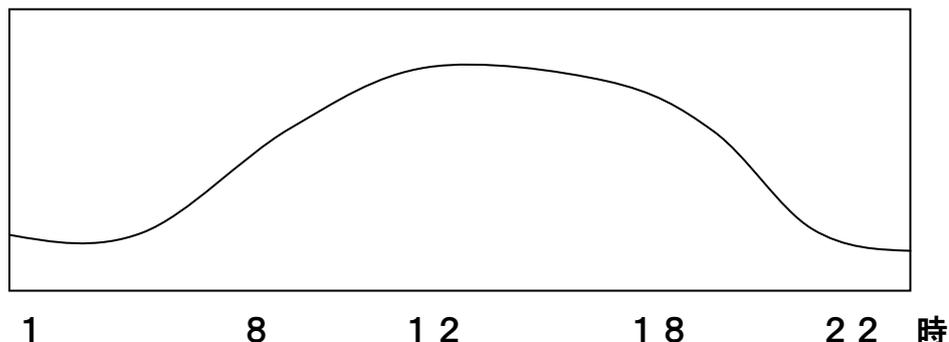
節電行動計画 記入様式（記載例）

事業所名：株式会社〇〇商事 △△営業所

（１）事業所の営業形態・使用電力等		
勤務実時間： 9：00～20：00 休日： 毎週 土・日曜日 契約電力： 120kW 昨年夏のピーク使用電力： 110kW		
（２）具体的な節電目標・目標の実現に向けた対策		
今夏の節電目標：昨年夏ピーク比でマイナス22%		
対策		対策効果
① 照明設備関係 電力消費の内訳：約20%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日射の影響が少ない場所はブラインドを開け、太陽光を取り入れる ・ 人がいない部屋はこまめに消灯する ・ 執務室 昼間は50%消灯 ・ 廊下や玄関の照明の間引き 80% →以上の全体で、概ね照明電力を半減する 	▲ 10%
② 熱源・空調・換気設備関係 電力消費の内訳：約40%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 室温設定を〇〇℃から△△℃に上げる ・ 空調開始時間を始業開始60分前から15分前に変更するとともに、終業時の1時間前に空調を止める ・ CO2 濃度基準値であることを確認し、換気ファンの運転台数を半減する。扉、窓を開け放しにしない ・ 夜間の換気を行い、業務開始時の空調負荷を軽減する。ただし、換気装置は最小限に絞る ・ 建物東面の窓は業務終了時にブラインドを閉め翌朝の日射負荷を軽減する 	▲ 4%
③ 室内機器関係 電力消費の内訳：約30%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 席を離れるとき、昼休み、帰社時にはパソコンの電源をオフにする。また、夜間のコピー機やプリンタの電源は確実に切る ・ 電気式給湯器の温度設定を下げるとともに、冷蔵庫の温度設定を強→中に変更する ・ 電気ポット、テレビなどは極力使用しない ・ 使わないときはコンセントからプラグを抜く ・ 就業時間以外の給茶器などは電源を切る 	▲ 4%
④ エレベーター等動力関係 電力消費の内訳：約5%	<ul style="list-style-type: none"> ・ エレベーターの稼働を半減し、なるべく階段を使う ・ 降りる場合は原則として階段を使用する(特に午後)。 	▲ 1%
⑤ コンセント等 電力消費の内訳：約5%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気暖房便座のコンセントからプラグを抜く ・ 温水洗浄水の設定温度を下げる 	▲ 1%
⑥ 操業調整等その他の対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節電担当者を任命している ・ 毎週水曜日の午後1時～3時は「自主休業」を行う ・ 従業員やその家族に対して指導や啓発をしている 	▲ 2%

(備考1) 事業所の電力使用曲線

※ 可能な事業所のみ、人の多さなどイメージでも可。



(備考2) 電力設備

※ 分かる範囲で

空調	中央式：空気熱源電気ヒートポンプ1台、空調機4台、ファンコイルユニット120台 個別空調：空冷パッケージエアコン 2台 (合計定格出力 0kW)
照明	蛍光灯 72本
エレベーター	2基
OA機器	パソコン デスクトップ型 25台 コピー機 1台 複合機 1台
冷蔵庫	家庭用冷蔵庫 1台
電気式給湯機	1台
...	...

※書き方の区分、どこまで詳細に書くかは自由です。

節電担当者： 節電太郎

節電行動計画 記入様式（記載例）

事業所名：株式会社〇〇マート △△店

(1) 事業所の営業形態・使用電力等

営業時間： 9：00開店～21：00閉店

定休日： 毎月第1，第3月曜日

契約電力： 244kW

昨年夏のピーク使用電力： 244kW

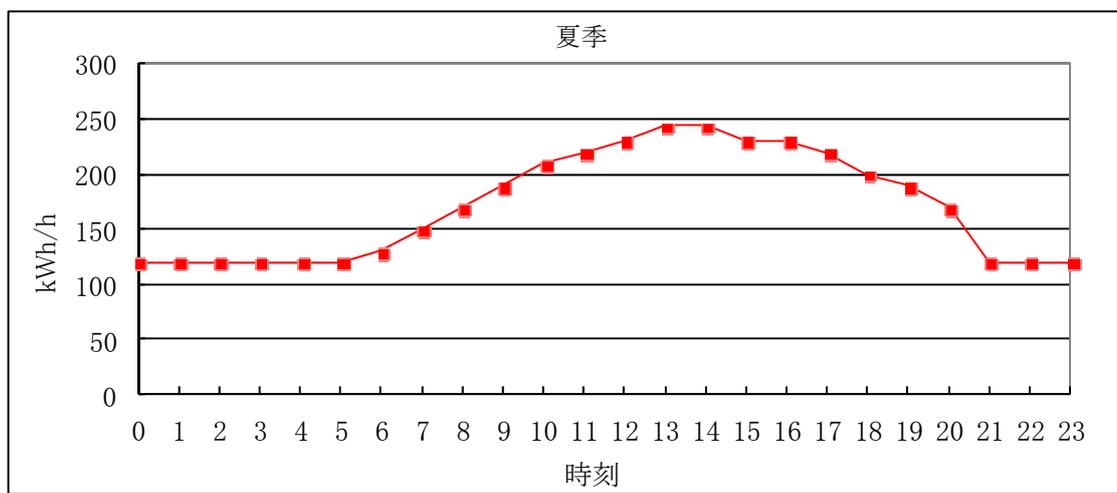
(2) 具体的な節電目標・目標の実現に向けた対策

今夏の節電目標：
昨年夏ピーク比でマイナス25%

対策	対策効果
① 照明設備関係 電力消費の内訳：約20%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 店舗外やバックヤードの照明、間接照明を間引く ・ 売場の点灯範囲を最小限とする ・ 日射の影響が少ない場所はブラインドを開け、太陽光を取り入れる <p style="text-align: center;">→以上を通して、概ね照明を半減する</p> <p style="text-align: right;">▲10%</p>
② 熱源・空調・換気設備関係 電力消費の内訳：約30%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空調設定を〇〇℃から△△℃に上げる ・ 終業時の1時間前に空調を止める ・ 扉、窓を開け放しにしない ・ 空調機周辺に空気の流れが悪くなるものを置かない <p style="text-align: right;">▲5%</p>
③ 室内機器関係（店舗） 電力消費の内訳：約40%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 販促用のディスプレイ、家電は必要時以外消す ・ 業務用冷蔵庫やショーケース庫内の温度監視の強化を徹底し、商品のダメージを与えない範囲で温度設定を強→中に変更する等設定値を見直す（無駄な冷えすぎ防止） ・ 複数の冷蔵庫の中身を少ない台数にまとめる <p style="text-align: right;">▲4%</p>
④ 室内機器関係（事務室） 電力消費の内訳：約5%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気暖房便座のコンセントからプラグを抜く ・ 温水洗浄便座の洗浄水の設定温度を下げる ・ ハンドラッパー、電気ポッドなど使わないときはコンセントを抜く ・ 使用しないOA機器のコンセントからプラグを抜く <p style="text-align: right;">▲2%</p>
⑤ エレベーター等動力機器関係 電力消費の内訳：約5%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員はなるべくエレベーター、エスカレーターを使わず階段を使う <p style="text-align: right;">▲1%</p>
⑥ 操業調整等その他の対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節電担当者を任命している。 ・ 省エネキャンペーン実施による社員の意識高揚 ・ 毎月第1，第3に加え、第2月曜日も定休日とする ・ デマンド監視装置による管理 （設定：契約電力-20%、警報発生時に事務所空調・照明を優先的に停止） <p style="text-align: right;">▲3%</p>

(備考1) 事業所の電力使用曲線

※ 可能な事業所のみ、人の多さなどイメージでも可。



(備考2) 電力設備

※ 分かる範囲で

照明	店内照明(看板・天井・ショーケース) : 蛍光灯 約800本 バックヤード照明 : 蛍光灯 80本 スポット照明・店舗外照明 : LED照明 60本
空調	業務用空調システム (定格出力 25.2 kW)
OA機器	パソコン デスクトップ型 4台 コピー機 1台 複合機 1台 レジスター 10台
冷蔵庫	業務用冷蔵庫 65台 ショーケース 7台 (合計定格出力 120 kW)
エレベーター	1基
エスカレーター	2基
...	...

※書き方の区分、どこまで詳細に書くかは自由です。

節電担当者： 節電太郎

節電行動計画 記入様式（記載例）

事業所名：株式会社〇〇製作所

（１）事業所の営業形態・使用電力等

操業時間： 8：30～20：30（事務部門：8：30～17：30）

定休日： 土日祝（年間260日稼働）

契約電力： 450kW

昨年夏のピーク使用電力： 450kW

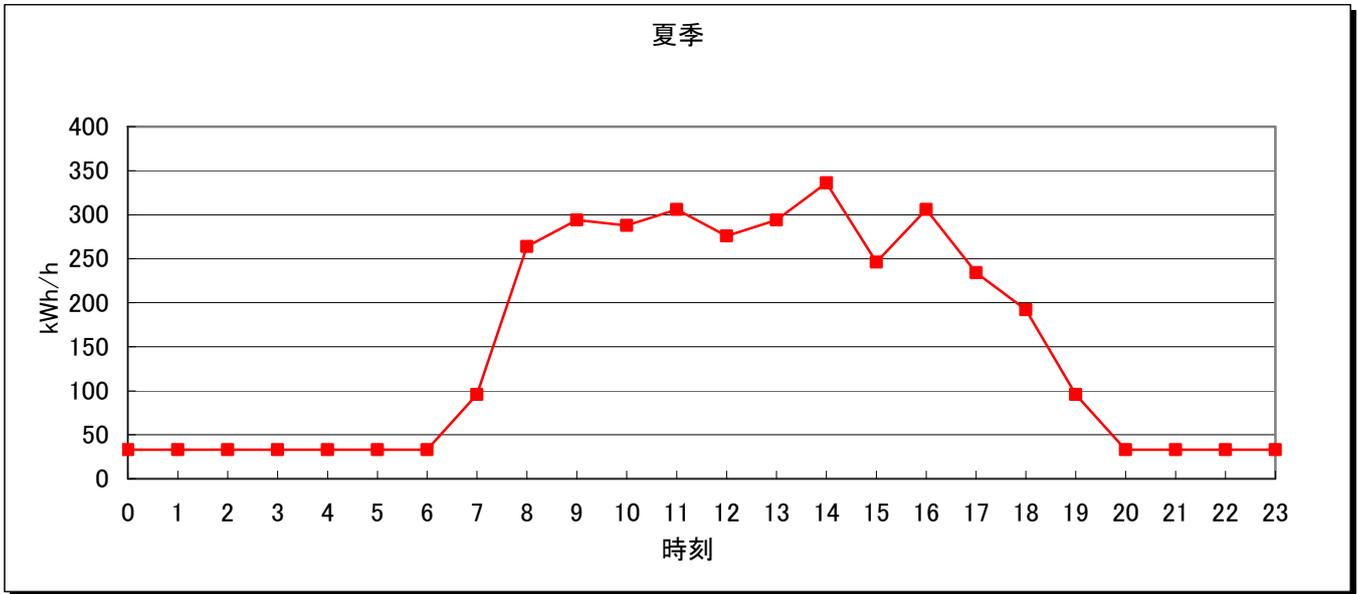
（２）具体的な節電目標・目標の実現に向けた対策

今夏の節電目標：昨年夏ピーク比でマイナス22%

対策	対策効果
①生産設備（工作機械）関係 <ul style="list-style-type: none"> ・ 切削水ポンプの停止 ※切削屑の効率的排出による ・ 待機状態設備の停止（または頻繁な発停を避ける） ※生産待機時のモータの空転を低減する 	
②生産設備（コンプレッサ） <ul style="list-style-type: none"> ・ 運転台数の見直し ・ 吐出圧力の低減（吐出圧の最適化） ・ 吸気温度の低減（外気取り入れによる） ※コンプレッサの消費電力は吸気温度に比例する ・ エア漏れの補修 	
③生産設備（熱処理炉） <ul style="list-style-type: none"> ・ 炉壁への断熱施工（保温） ・ 炉の昇温開始時間の調整 ・ 午後1時～午後3時までは入炉、出炉しないように工程を組む（炉温の低下による電力使用の防止） 	
電力消費の内訳（生産設備計）：約80%	▲ 8%
④空調設備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 室温設定を〇〇℃上げる ・ 室外機への直射日光を避けるため、よしずを設置 ・ 空調時の窓や出入口の閉鎖（開けっ放しにしない） ・ 細めなフィルタ清掃 ・ 不在エリアの空調停止 ・ クールビズの徹底（安全は最優先） 	▲ 2%
電力消費の内訳：約15%	
⑤照明設備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 照明の間引き（作業エリアの照度の見直し） ・ 昼休み・休憩時の消灯徹底 ・ 自然光の採取 ・ 人感センサーの導入 	▲ 2%
電力消費の内訳：約5%	
⑥操業調整等その他の対策（機器運転時間シフト） <ul style="list-style-type: none"> ・ 早出残業による複数機器同時運転の緩和 ・ 一部工程の夜間シフト（ラインが複数ある場合） ・ 熱処理炉の夜間運転 ・ 複数設備の一斉起動を避ける 	▲ 10%
⑦その他の対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 節電担当者を任命する ・ 自動販売機の照明消灯やタイマーによる夜間停止 ・ デマンド監視装置による管理（設定：契約電力ー20%、警報発生時に空調・照明を優先的に停止） ・ 設備の適正なメンテナンスによる機械損失の低減 ・ 省エネキャンペーン実施による社員の意識高揚 	

(備考1) 事業所の電力使用曲線

※ 可能な事業所のみ、人の多さなどイメージでも可。



(備考2) 電力設備

※ 分かる範囲で

主要設備	工作機械 (旋盤・フライス盤) 20kW×3台
	工作機械 (圧造機) 70kW×2台
	工作機械 (転造機) 50kW×1台
	コンプレッサ 22kW×2台
	焼入炉 (ヒータ容量) 20kW×1基
空調設備	空冷パッケージエアコン 20HP×〇〇台
照明機器	蛍光灯 40W×〇〇本
OA機器	パソコン (デスクトップ型) ×20台 コピー機×1台
...	...

※書き方の区分、どこまで詳細に書くかは自由です。

節電担当者： 節電太郎